

冒険あそび場—せんだい・みやぎネットワーク 2020年度 事業計画 (案)

2020年度は震災発生から10年を迎える年となる。昨年度は、仙台市沿岸部においても東部復興道路はじめハード面の復興事業はほぼ終わり、今後は、人口も大きく減ったコミュニティの再生など持続可能な地域づくりが最大の課題となってきている。当会としても、海岸公園冒険広場を拠点に「遊ぶ」という切り口から沿岸部周辺の魅力をとらえなおし、長いスパンで地域づくりを支えていきたい。節目の年、震災を振り返り伝えていく活動にも力を入れていく。

また本年度は、子どもの遊び環境をいかに回復・創造していくかという、震災前から取り組む課題にあらためて向き合っていきたい。コロナ禍により、子どもの育ちを支える身近な環境が厳しい状況になっていることは、あらためて浮き彫りになったとも言える状況がある。仙台市も新たに策定された子ども子育てプランのなかで遊びの環境づくりに取り組む姿勢を示す今、当会としても、遊びの環境のあり方や遊び場が果たす役割について、海岸公園冒険広場、周辺での遊び場、のびすく若林、その他多様な取り組みを連携させながら実践を重ね、それを活かした具体的な提案をしてきたい。

以上を踏まえ、2020年度事業として、以下①～⑥を重点に取り組む。

①海岸公園冒険広場の着実な運営と、周辺も含めたより積極的な展開

アクセス道路も含めた整備も終わり、再開3年目を迎えた海岸公園冒険広場について、指定管理者としての着実な運営を行う。また周囲とも積極的に連携し被災地域の再生に貢献できることを引き続き目指していく。

震災前からの「自然と親しむ場」「自由に遊びを創造できる場」といった役割に加え、周辺を含めた賑わいや交流の創出、震災を伝え防災に資する役割を果たしていく。

- ・指定管理者としての海岸公園冒険広場の着実な運営
- ・沿岸部の他の活動・施設とも連携しての賑わい・交流の創出
- ・震災の「記憶」の保存・記録・発信や、経験を活かした事業による防災への貢献
- ・冒険広場および周辺地域の魅力を引き出す、生き物調査・みどり再生活動
- ・震災を伝えるほか、体験活動等も含めた学校の授業等への協力

② 震災被害の大きかった地域を中心に取り組む遊び場づくり

海岸公園冒険広場周辺でのプレーカーを活用した巡回型の遊び場活動・交流活動については、新型コロナウイルス感染症の拡大状況も見ながら継続実施を目指す。若林区六郷・七郷地域・宮城野区田子西地区を中心に、移転した人たちが新たにコミュニティを築いて

いる地域、被災した現地での再建を目指している地域の双方で、交流の生まれる場づくりを進める。

- ・宮城野区田子西地区等、移転先地域での遊び場活動（宮城県被災者支援総合交付金事業）
- ・六郷地域・岩沼市の現地再建地域等での活動（みやぎ地域復興支援助成金事業）
- ・七郷中央公園冒険遊び場等、地域の中の遊び場・居場所の役割を意識した活動
- ・上記活動の場を中心とした、サロン等の支援展開（宮城県被災者支援総合交付金事業）

③ のびすく若林と連携した、乳幼児親子への遊びの大切さの発信

開館して4年目に入る子育てふれあいプラザ「のびすく若林」の日常の運営と、地域連携事業などを通して、乳幼児親子へ遊びの大切さを伝えていく。コロナ禍の状況だからこそ、リスクの低い外遊びの大切さもしっかりと伝えていきたい。

- ・「のびすくプレーパーク」等、ふるさと広場も活用した外遊びの機会の創出
- ・「出前のびすく」の継続的な展開と、若林区内各所でのあそび場活動との連携

④ 地域住民の主体的取り組みの支援と、その実績の整理

冒険あそび場ネット事業から地域住民の主体的な取り組みに移行した遊び場活動の運営が軌道に乗るための支援を続ける。また、当初から住民発意で始まった取り組みへの協力も継続していく。

- ・住民発意の遊び場づくり活動の支援
- ・冒険あそび場ネット事業から自立して市民運営となった遊び場の支援

⑤ 子ども・子育て支援計画の策定も受けた、調査・提言活動

各自治体では「子ども・子育て支援計画」が新たな計画期間に入ったが、「遊び」「遊び場」の記述を拡充させた自治体もあるので、それがしっかりと施策の実施につながっていくよう、具体的な動きを確認すると共に、調査・提言など行っていく。

2020年度は、総合計画やみどりの基本計画の策定も予定されており、動向を捉え、パブリックコメントやその他の機会を得て必要なはたらきかけを行なっていく。その他、さまざまな切り口から遊び場を展開できる展開可能性について、機会を得て訴えていく。

- ・子ども・子育て支援計画の新計画期間の施策動向の確認
- ・仙台市が実施する遊び環境調査の調査・研究業務の受託実施
- ・みどりの基本計画や総合計画等の策定動向を確認し、必要な提言を行う

⑥ 組織運営基盤づくり

2016年度末に策定した中期計画の実現に必要な基盤づくりとして、事務局長配置等も含め、事務局体制を強化していく。また、遊び場も含めた人材育成の方向を見出していく。

ミッションを実現するため、策定から4年目に入った中長期ビジョンについても検討を継続していく。